

明海大学大学院応用言語学研究科主催  
浦安市教育委員会後援

## 第19回応用言語学セミナー

—応用言語学を考える—

日時：2016年11月26日(土)  
場所：明海大学浦安キャンパス  
講義棟1階 2102教室

## プログラム

我が応用言語学研究科が研究科名にその名を冠する「応用言語学」については多くの研究者がそれを規定することのむずかしさを認める。事実、応用言語学の現状は混んとしており、いわば「なんでもあり」の状況を呈している。この現状を放置すれば、応用言語学はやがて科学として認知されなくなってしまう危険がある。

本セミナーの出発点として、わたくしは応用言語学をあくまで科学の一分野であると考え、応用言語学であるための必要条件として、①基礎言語学を重要な基盤とし、基礎言語学との関係が透明である研究で、かつ、②理論志向が明確である研究であることを提案する。どれだけ現実の社会的問題の解決に向けて寄与するところが大ききとも、それが①と②を満たさないものであれば、我々はそれを「応用言語学」とは呼ばない。また、必然的に、基礎言語学自体も応用言語学の重要な一部分であると認識する。

①と②を満たすものであれば、研究対象領域が何であるかは問わない。母語教育、外国語教育、言語教育政策、言語政

策、自然言語処理、言語障害、文学とことば、翻訳・通訳、法とことば、政治とことば、ジェンダーとことばなどが研究対象領域の具体例として考えられる。

今回のセミナーではこの規定をたたき台として、応用言語学のあるべき姿を模索したいと考える。

明海大学大学院応用言語学研究科長・外国語学部長  
大津由紀雄

12:30 受付開始  
司会：佐々木文彦(明海大学外国語学部日本語学科教授)

13:00 - 13:15 趣旨説明  
大津由紀雄(明海大学大学院応用言語学研究科長・外国語学部長)  
「なぜ、いま、「応用言語学を考える」のか？」

13:20 - 14:10  
柳瀬陽介(広島大学大学院教育学研究科英語教育学講座教授)  
「言語学という基盤を問い直す応用言語学？  
—意味概念を身体・複合性・複数性から再検討することを通じて—」

英語教育研究者(広義の応用言語学者)としての発表者は、英語教育の現実観察を重ねるにつれ理論言語学の前提が足かせになると考え始め、哲学のウィトゲンシュタインやアレント、社会学のルーマン、神経科学のダマシオらの言語論を自らの理論的枠組みとするに至った。今回の発表では、身体、複合性、複数性といった現実世界で重要な観点から意味概念を再検討して「応用言語学」が言語学という基盤を問い直す可能性について考えたい。

14:20 - 15:10  
安田敏朗(一橋大学大学院言語社会研究科准教授)  
「応用言語学は応用がきくのか——日本の言語政策のあり方から考える」

応用言語学が基礎言語学をふまえた、科学的・理論的なも

のでなくてはならない、という理念はよくわかる。しかしながら、現実の言語問題に対してどのような対応が政策的になされてきたのか、という観点からみると、学理的な側面が捨象された形でしか言語政策は実施されてこなかった、という印象がつよい。本報告では、敗戦後の国語審議会(文化審議会国語分科会もふくめて)のあり方の検討をつうじて、応用言語学とはイデオロギー闘争にも参加できるだけの幅の広さ(どろくささといいかえてもよい)をもたないと、現実問題に対処できないのではないか、という論点を提示したい。

15:15 - 16:05  
瀧田健介(明海大学外国語学部准教授)  
「極小主義プログラムと応用言語学」

変形生成文法に基づく統語論は、初期の応用言語学においてまさに基礎科学としての役割を果たしていた。しかし、理論が発展しその複雑さ・抽象度を増していくにつれ、その役割は小さくなったと言われている。生成文法理論がより抽象度を増したとされる極小主義プログラムのもとでは、その役割はさらに小さくなったのだろうか。今回の発表では、極小主義プログラムは、「言語」とは何かという問いを徹底的に追及することにより、むしろ応用言語学の基盤としてより良い見通しを提供できることを論じる。

16:20-17:30  
パネルディスカッション  
(上記講師の先生方及び大津研究科長によるパネルディスカッション)

参加ご希望の方は、お手数ですが11月18日(金)までに電子メール、FAX または葉書にて、以下の①～③をお知らせ下さい。

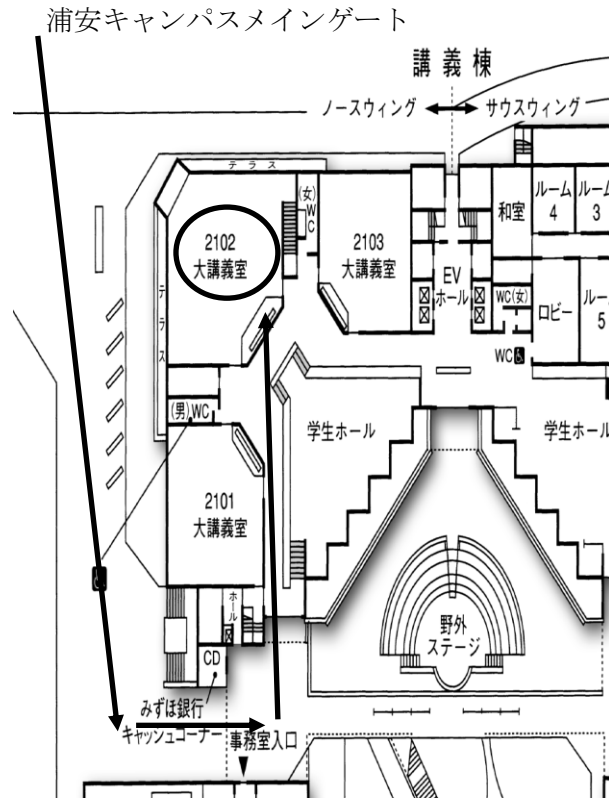
①お名前 ②ご連絡先 ③懇親会参加の有無  
お問い合わせ：明海大学応用言語学セミナー運営委員会  
FAX：047-350-5504

E-mail：meikaiseminar@gmail.com

◆新浦安駅からのご案内



◆ 会場：講義棟 1階 2102 教室



◆明海大学応用言語学セミナーのホームページ

明海大学 第19回応用言語学セミナー [検索](#)  
 Meikai Applied Linguistics Seminar (MALS)